



8月 ちとせだより

2022. 7. 15

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

例年であれば、まだ梅雨の季節を過ごしている中、今年は早々と6月28日に近畿地方は梅雨明けが発表され、夏の強い日差しを浴びながら、暑い毎日を過ごしております。まだ、1学期が終わっていないにも関わらず、真夏日のような毎日が続き、これから迎える本当の夏の暑さに耐えられるのだろうかと心配される方も多いのではないのでしょうか。

また、いったん落ち着き始めたコロナ禍もオミクロン株の新系統である「BA・5」の拡大に伴い、全国的に感染者数も増加傾向に転じ、「第7波」を迎えたとも言われています。開放的な夏の季節を迎えながらも、感染拡大防止、予防に努めないといけない毎日がやってきそうです。どうか体調には気をつけながら、豊かな毎日を過ごして欲しいと願っております。

今日で幼稚園は1学期を終了しましたが、時代と共に夏の過ごし方も大きく変容してきました。主に家庭で過ごす方、おじいちゃんやおばあちゃんの家へ帰省して過ごす方、またなつやすみプレイクラブとして幼稚園で過ごす方、夏の過ごし方もそれぞれです。しかし、子どもたちにとって、どのような場所であっても、子どもたちらしくこの夏を過ごしてほしいと願っています。制限されることのないこの時間を、何をして遊ぶのか？誰と遊ぶのか？このような小さな計画を自分自身でワクワクしながら考え、実行に移していく過程が、子どもたちにとっては大切な経験です。幼児期には、様々な興味や関心が原動力となって、自ら動き出し、観察し、知識としてではなく、自分を取り巻く環境を自らの五感を通じて感じていきます。まさしく、「子どもの仕事は遊び」と言われるように、子どもたちにとっては遊びそのものが、人間として必要な様々な感性を養っていく手段でもあります。幼稚園で過ごす、なつやすみプレイクラブでも子どもたちに必要な「時間・空間・仲間」を保障し、いつものクラス保育ではありませんが、異年齢のお友だちとの関わり、触れ合いも大切にしながら、子どもたちが主体的に夏ならではの遊びを体験できるように過ごしていきます。

今夏、熱中症やコロナ感染など子どもたちを取り巻く環境として注意すべきこともたくさんありますが、それぞれの場にあって、子どもたち自身が自らの意思で動き出すことが許される夏を過ごして欲しいと切に願っております。

【年主題】

『つながって』～今、わたしを生きる～

【年主題聖句】

主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守り
あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも帰るのも
主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。（詩編121編7～8節）

8月主題 「やってみる」

聖句 「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」
（テサロニケの信徒への手紙 I 5章16～18節）